



神奈川支部報

神奈川支部報 第 14 号

発行日：2020年4月1日

発行者：込田伸夫

発行所：公益社団法人日本山岳会神奈川支部

横浜市青葉区若草台 2-58 込田方

丹沢おぼえがき (6)

— 蛭ヶ岳を執念できわめた梅沢親光 —

砂田定夫

丹沢における早期の近代登山で、最高峰の蛭ヶ岳を主目的とする主脈縦走に執念を燃やした登山家がいる。日本山岳会創立の発起人の一人、梅沢親光(右の写真)である。梅沢は若いころから自然科学に関心を持ち、日本山岳会創立の母体となった日本博物学同志会に属し、早くから富士、秩父、御嶽、日光の山などに登っている。かつて甲斐駒ヶ岳が信州側では白崩山、甲州側で駒ヶ岳と呼ばれていた時代があり、同一か否かの論争が起こった。結局は梅沢や武田久吉らが実証して同一であることを実証した。梅沢はそのことに関して『山岳』にいくつかの文を寄稿してる。

梅沢が最初に丹沢へ足を踏み入れたのは1906(明治39)年9月で、武田らと蛭ヶ岳を目ざしたが、雨天で撤退した(前号参照)。2度目は1912(大正元)年秋、梅沢は単独で再挙を図り、上野原から月夜野へ出て一泊し、案内人を雇った。翌日は霧雨で天気回復待ちとなり、結局予定を変更して大群山(大室山)へ登り、犬越路から中川へ下って山北へ出ている。3度目は1914(大正3)年9月、前回の案内人を伴って焼山から登った。ヤブがひどく、その上荒天となったが、何とか蛭ヶ岳の頂上をきわめることができた。しかし、天候は悪化するばかりで、ほうほうの体で青根に下った。梅沢はこの山行が何ら得るものがない、失敗だったという感想を述べている。4度目は、1917(大正6)年8月末で、上野原から荷役を雇い、青根から3回目と同じコースで蛭ヶ岳に再度登頂した。不動ノ峯の下で一泊、翌日丹沢山・塔ノ岳を縦走し、松田へ下って宿願を果たした。蛭ヶ岳で

は霧で眺望が得られず、その登りは草いきれ、笹ヤブなどで楽ではなかったようだ。蛭ヶ岳から丹沢山への間は、「根気よく切明通りに進まなかったもので無暗に方々引懸る木立で眺望も何も殆どなくて実に面倒な処である」と書いている。不動ノ峯から丹沢山へ近づくにつれ路はよくなった、とも書いている。梅沢にとってこの山行は感慨の深いものだったに違いない。何しろ最初に志してから11年の歳月が流れているのだ。ここに蛭ヶ岳を含む丹沢主脈を通して近代登山の足跡が初めて印されたのである。

ところで、梅沢という人は41歳という若さで病死したため、それほど知られていないが、帝大時代は水泳部に在籍し、古式泳法の免許皆伝で、明治41年ごろ御嶽の二ノ池で泳いだという記録がある。大正時代に入って中村清太郎の主唱で「秩父会」が結成されたとき、木暮理太郎、田部重治、中村と梅沢が主要メンバーで、ときに武田、小島烏水、高野鷹蔵らも参加したという。年齢が梅沢に近かった田部は、「あの頑健な身体をもち、元気な梅沢君が、若くして死ぬとは意外なことだった」と書いている(田部『わが山旅五十年』)。



訂正：前号(「支部報」13号)に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。訂2頁左段下から3行目 愛知県三重→三重県桑名、同右段10行目 孫仏岩(孫仏岩)→尊仏岩(孫仏岩)

山行報告

かながわ山岳誌

Lコース 鷹取山・クラコ峠

令和元年 12 月 14 日

コース概略 藤野駅～藤野神社～岩戸山～小
淵山～上小淵分岐～鷹取山～沢井入口～クラ
コ峠～和田（バス）～藤野駅

藤野駅を東に進み、踏切を渡る。鷹取山の道標を頼りに、中央高速道手前を右に曲がると坂道になる。長い石段を登り藤野神社に立ち寄る。登山道に入り、送電鉄塔を2ヶ所越えると南側の展望が良い。石老山、蛭ヶ岳や大室山などの丹沢山塊が見える。紅葉も終盤をむかえた山道を進むと、岩戸山に出る。藤野町十五名山の道標が立つ。更に歩き小淵山に到着。アップダウンを繰り返し鷹取山で昼食。武田方の烽火台があった場所で、北条の様子をのろしや大鐘で合図した場所だ。三等三角点を確認し、山頂を下り車道に出る。ここから甲州裏街道を歩きクラコ峠に抜ける。峠には、芭蕉の句碑がある。鎌沢入口、和田への長い車道を歩きバスで藤野駅に戻る。初心者向きの手頃なハイキングコースである。



↑ 鷹取山山頂

<参加者> 込田伸夫、森武昭、石村日満子、
富岡一郎、舟根章、高井紀栄、稲垣哲郎、大字
進、森静子、田島剛、中島良行、葉上徹郎、関
口由美子

かながわ山岳誌 Hコース 箱根文庫山 令
和元年 12 月 28 日

コース概略 箱根湯本駅（バス）～甘酒茶屋～
文庫山～甘酒茶屋（バス）～箱根湯本駅

箱根旧道にある甘酒茶屋を背に、前方に見える崖の左側のピークを文庫山と呼ぶ。距離は短い、枯沢とヤブ漕ぎをしながら山頂を目指す。道標は一切無く、読図とルートファインディングが必要なバリエーションルートである。取付きから踏み跡が薄い枯沢を登る。気温が低いため、ゴロや岩が凍っており滑り易い。沢を詰め、途中から西側にわずかに判別できる獣道をヤブをかき分け進む。尾根にのり、標高が780mになると傾斜が緩くなり、大きく北東に向きを変える。一本の大木が文庫山山頂の目印で、近くにお手製標識「文庫山」がある。Hコースとしては、低山（810m）で山頂までの距離は短い、藪漕ぎが多く中級者並みの技量が必要である。

<参加者> 砂田定夫、森武昭、永井泰樹、田
島剛、葉上徹郎、本村光昭

Lコース 岩堂山、野毛山

令和2年 1月 11日

コース概略 三崎口駅（バス）～松輪入口～岩
堂山～大乘（バス）～三浦海岸駅（電車）～
黄金町駅～野毛山～横浜駅

松輪入口でバスを降りて民家を過ぎると、辺り一面は広大な大根畑とキャベツ畑が広がる。



↑ 岩堂山山頂

三浦半島南端の最高峰（標高 82.1m）岩堂山は展望が良く、房総半島から大島、伊豆半島が一望できる。山頂の一段下のキャベツ畑の中に二等三角点があり、三角点の設置場所としては特異な山である。

三浦海岸駅から電車で黄金町駅に移動し、高台の野毛山に登る。展望台がありランドマークタワーや横浜港が見える。野毛山公園と動物園がある市民の憩いの場所である。山頂の野毛山配水池脇に三等三角点があるが、石盤で蓋をされ、三角柱を見ることはできない。岩堂山も野毛山も一般向けのハイキングコースで初心者向きである。



↑野毛山山頂

<参加者> 芦澤敏夫、森武昭、稲垣哲郎、込田伸夫、高井延幸、吉澤平治、國清喜美子、細川治子、永井泰樹、長島泰博、砂田定夫、舟根章、高井紀江、石村日満子、打矢之威、田島剛、中島良行、渡辺正敏、関口由美子、藤川智恵子

Hコース 孫助山・鞍掛山

令和2年1月25日

コース概略 箱根湯本駅（バス）～箱根町バス停～孫助山～鞍掛中継所～鞍掛山三角点～箱根町バス停（バス）～箱根湯本駅
バスを降り、県道75号線を湯河原・大観山方面へ歩く。徐々に上り坂となる。孫助山取付きから一気に廃道となった激ヤブの中を進む。人の背丈程度のヤブで踏み跡を失い、一向に前進できない。強引に進みヤブの背丈が低くなると崖が現れ大きく東側へ迂回する。直登し馬酔木の木が目立ってくると山頂に出る。山頂も腰程

度の激ヤブだ。下山は踏み跡を追って元来たヤブを抜けた。県道に出て鞍掛山電波中継所を目指し、鞍掛山に登る。山頂はまたも激ヤブの中で、三角点は一段低い場所に設置されている。いずれも激ヤブの山で一般登山者には向かず、訪れる人もほとんどいないと思われる。今回は、Hコースに女性会員が初めて参加した山行であった。



↑孫助山山頂

（Hコースに参加して）関口由美子
山岳プロジェクトチームに登録していただき、1月25日に初参加、孫助山～鞍掛山に行ってきました。二座共マイナーな山、インターネットで検索しても情報は限られています。唯一、確実なのは藪漕ぎ、それも半端なさそう。このような山は滅多に行かれる所ではない。このチャンスを逃すのは非常にもったいない!! 当日の週間天気予報は怪しげ、しかし皆さんの行いが良かったのでしょうか？ 薄日が差し、まずまずの天気で一安心です。参加者は9名、紅一点の私、皆さんの足を引っ張らないようにと気合が入ります。さあ出発、登山口から藪漕ぎが続き次第に深く、超、激、藪漕ぎ、背丈以上の竹藪、竹にしがみつきながら急坂を登る、崖もあり気が抜けない、途中、竹藪で姿が見えない時がありリーダーはじめ皆で大声をかけながら前進。予定タイムより早く無事頂上に!! 下山は思いの外あっという間に下山口に。次は鞍掛山へ、この山は孫助山に比べると標高は高いのですが、急な登りもなくほぼ平、しかしピークらしきものは見えない。二座共、経験豊富な大先輩方、GPSのおかげで三角点を発見。（孫助山は三角点無し） 記念撮影を終え充実

感で一杯です。参加者全員で目標に向かいそれを成し遂げた満足感、なかなか味わえるものではないです。

感謝の気持ちでいっぱいです。皆様ありがとうございました。

<参加者> 砂田定夫、森武昭、込田伸夫、永井泰樹、田島剛、葉上徹郎、中島良行、本村光昭、関口由美子

Lコース 日向山・鐘ヶ嶽

令和2年2月8日

コース概略 伊勢原駅(バス)～日向薬師～日向山～見城～広沢寺温泉～山神隧道～鐘ヶ嶽～広沢寺温泉入口(バス)～本厚木駅



↑鐘が岳山頂

日向薬師は改装が終わり、茅葺の美しい屋根が復元された。登山の無事を祈願して日向山に登る。頂上から相模湾が見える。大釜弁財天方面に下りそのまま尾根を直進し見城(みじょう)に進む。昼食後東側が開けた尾根を広沢寺温泉方面に下る。傾斜がきつい、相模湾の展望が素晴らしい。林道を山神隧道手前まで歩くが、舗装路で体力を消耗する。隧道手前を左に折れて、急傾斜のクサリ場を登り鐘ヶ嶽山頂を目指す。山頂には菩薩が二体立つ広場がある。その下に七沢浅間神社が建立され、戦国時代から村人の信仰が厚い。長い石段を下りやっと広沢寺温泉入口のバス停に到着した。初心者向けのコースであるが、歩行距離は長く、体力を必要とする山行である。

<参加者> 森武昭、込田伸夫、舟根章、平林力丸、森静子、丸山さかえ、大字進、田島剛、葉上徹郎、渡辺正敏、中島良行、関口由美子、

藤川智恵子、吉澤平治、細川治子

Hコース 畦ヶ丸

令和2年2月22日

コース概略 新松田駅(バス)～大滝橋～マスキ嵐沢左岸尾根～権現山～畦ヶ丸～善六ノタワ～西丹沢自然教室(バス)～谷峨駅

久しぶりの西丹沢バリエーションルートである。今回もHコースに女性が参加して、地図にない道を完歩した。マスキ嵐沢左岸尾根は最初から急登の連続で、木々を掴みながら権現山に登った。山頂手前にシカ柵があり、迂回して頂上を踏む。以前設置されていた、山頂を示す道標はない。畦ヶ丸に分岐する尾根も地図にない道である。以前は笹ヤブを漕いだ、今回来るとヤブがなく、とても美しい尾根に変わっていた。畦ヶ丸に登山者はおらず、午前中晴れていた天気は、みるみる悪化し、強風が出た。善六ノタワを過ぎると本格的な雨になり、本棚・下棚の滝を見る余裕もなく、自然教室に辿り着いた。7時間半の長丁場で、マスキ嵐沢左岸尾根から畦ヶ丸まで、読図が必要な上級者向けルートである。



↑畔が丸山頂

<参加者> 永井泰樹、田島剛、葉上徹郎、関口由美子

妙高スキー&スノーシュー

令和2年2月24日～26日

例年企画しているアルペンスキーと今年から施行したスノーシュー山行を実施した。

初日、スキーチームは赤倉観光スキー場、スノーシューチームは妙高高原自然歩道にて山行。2日目は、戸隠スキー場の山頂にて記念撮影（高妻山を背景）をして、各チームに分かれ山行実施。午後スノーシューチームはテレマークスキーも加わり、戸隠奥社入口から奥社まで約2kmの雪原を進んだ。踏み跡の無い雪の中をスノーシューで歩くことの清々しさに、大好評であった。夜は、プチパーティーで大いに盛り上がり、翌日解散となった。

宿は、「温泉のある小さなホテル」神奈川支部会員の小笠原さんが経営する「赤倉ユアーズ・イン」を利用し、ガイド役もお願いして、大変お世話になった。ありがとうございました。



↑ユアーズインにて



↑戸隠スキー場トップにて



↑戸隠奥社参道にて

<参加者> 富岡一郎、森武昭、森静子、石村実、石村日満子、高井延幸、高井紀栄、舟根章、打矢之威、廣島孝子と妹、田島剛

気象講演会は中止（延期）！！

本部支部事業委員会の後援を受けた支部主催の気象講演会を 2/29・3/1 に箱根の神奈川大学箱根保養所と金時山で開催予定でしたが、現下の社会状況に鑑み、中止といたしました。改めて時期を設定して実施する予定です。

担当：森 武昭

役員会報告

12月役員会

日 時：令和元年12月19日（木）19時08分～20時40分

場 所：神奈川工科大学横浜事務所

出席者：込田支部長、早川副支部長、永井事務局長、森、落合、植木、長島、廣岡

委任状による出席：大槻、柴山、田島、青木

議事

[議事録の承認]

前回（令和元年度第7回）議事録は承認された。

[報告事項]

(1) 山行報告

- ・永井より、11/23 に山岳誌プロジェクトHコースとして実施した藤野駅～日連大橋～日連神社～宝山(宝ノ峰)～日連山～新和田峠～鉢岡山～

田ヶ岡～新和田～峰～日連金剛山～藤野駅についての報告があった。なお、悪天候のため後半部分（天神峠～高倉山～金剛山～一本松山～京塚山～弁天橋～藤野駅）は中止にし、後日Lコースとして改めて実施することにした。参加者は5名。

- ・森より、12/14に山岳誌プロジェクトLコースとして実施した藤野駅～岩戸山～小淵山～鷹取山～沢井入口～クラコ峠～鎌沢入口～和田 BS＝藤野駅についての報告があった。参加者は13名。

(2) 案内・報告

- ・本部支部事業委員会主催の第9回登山教室指導者養成講習会の案内があった。

[審議事項]

(1) 年間スケジュール

- ・支部報は1月に発行できる見通し。
- ・3月の山岳誌Lコースの山行は、台風被害などを考慮して、舟山から南山へ変更。
- ・5/23の支部総会前の記念講演は、丹沢のヒル問題をテーマに神奈川県職員の井田忠夫氏に依頼してみることにした。担当は森。
- ・10月に南関東ブロックの3支部懇談会を実施する。藤野駅南部の高倉山・一本松山・京塚山あたりの山行と駅近くでの懇親会を軸に実施案を検討することにした。担当は永井。

(2) 山行計画

- ・山岳誌プロジェクトのHコースとして、12/28に甘酒茶屋～文庫山(往復)を実施予定。なお、時間的に余裕があれば上二子山の踏査も実施予定。留守本部は、込田と植木が担当。
- ・山岳誌プロジェクトのLコースとして、1/11に京急三崎口＝松輪～岩堂山～大乘＝三浦海岸駅＝黄金町～野毛山～日ノ出町＝横浜駅を実施予定。留守本部は、落合と森静子が担当。なお、下山後17時から横浜駅東口近くの香園で新年会を実施する。参加者は22名。

- ・山岳誌プロジェクトのHコースとして、1/25に箱根町BS～孫助山～鞍掛山～箱根町BSを実施予定。留守本部は次回決めることにした。

(3) その他

- ・永井より、本部から特別事業補助金の申請について依頼があった旨の説明があった。
- ・永井より、本部から依頼のあった来年度の事業計画と予算計画について説明があった。予算計画(1/15締切)は原案を承認した。事業計画(1/31締切)については追加項目の検討依頼があった。
- ・今年度の予算執行について協議した。講演会・原稿執筆関係で約10万円、スノーシューで約8万円、支部旗で約4万円を執行する予定。残額もあるので、詳細はさらに検討することにした。
- ・森より、気象講演会の参加申し込みは現時点で20名、宿泊は22名との説明があった。
- ・舟根会員から提案のあった第2回自然観察会を4/18に横浜市保土ヶ谷区のこども植物園で実施することを決定した。事務窓口は永井が担当。

1月役員会

日時：令和2年1月16日(木)

19時05分～20時20分

場所：神奈川工科大学横浜事務所

出席者：込田支部長、大槻副支部長、早川副支部長、永井事務局長、森、落合、田島
委任状による出席：長島、柴山、廣岡、青木

議事

[報告事項]

(1) 会員異動(資料9-11)

- ・退会：12227 西田 進(物故)
- ・入会：16341 鎌田 典子
16115 高橋 潤一

(2) 山行報告

- ・永井より、12/28に山岳誌プロジェクトHコースとして実施した甘酒茶

屋～文庫山(往復)についての報告があった。参加者は6名。

- ・森より、1/11に山岳誌プロジェクトLコースとして実施した京急三崎口駅＝松輪BS～岩堂山～大乘BS＝三浦海岸駅＝黄金町駅～野毛山～西戸部町(小島烏水旧宅跡)～横浜駅東口についての報告があった。参加者は22名。下山後、横浜駅東口近くの香園で新年会を開催した。参加者は25名。

(2) 案内・報告

- ・本部支部事業委員会主催の第9回登山教室指導者養成講習会について、参加希望者2名はいずれも都合がつかなくなり、参加者零となった。

[審議事項]

(1) 年間スケジュール

- ・支部報は4月に発行予定。
- ・5/23の支部総会前の記念講演は、候補者として名前があがっていた井田忠夫氏は断りの回答があった。そこで、落合の紹介で近藤和美氏(労山)に依頼してみることにした。

(2) 山行計画

- ・山岳誌プロジェクトのHコースとして、1/25に箱根町BS～孫助山～鞍掛山～箱根町BSを実施予定。参加者は8名。留守本部は、早川と大槻が担当。
- ・山岳誌プロジェクトのLコースとして、2/8に伊勢原駅＝日向薬師～日向山～見城山～山神隧道手前～鐘ヶ嶽～広沢寺温泉＝本厚木駅を実施予定。留守本部は、大槻が担当し、もう1名は森に一任。
- ・2/24～2/26に妙高赤倉温泉で、スキー・スノーシューを楽しむ会を実施予定。参加者は現時点で10名。留守本部は込田と永井が担当。

(3) その他

- ・森より、気象講演会の概要説明があった。参加者は30名。山行のリーダーは早川、サブリーダーは大槻、会計は青木が担当。
- ・永井より、本部から依頼のあった来年度の事業計画(1/31締切)について説

明があり、原案を承認した。

- ・今年度の予算執行について協議した。
 - ①かながわ山岳誌報告書の原稿執筆料3件。税込みで10.5万円。担当は森。
 - ②気象講演会の講師の交通費(長野県茅野市から箱根仙石まで往復)と宿泊料で2.8万円。担当は森。
 - ③スノーシュー2台(男性用と女性用の各1台)で8万円。担当は田島。
 - ④ツェルト4セットで4万円。大槻が担当。
 - ⑤残額1.5万円+αはインク・紙・コピー代などの消耗品費。永井が担当。
- ・四国支部から案内のあった小島烏水祭(4/11・4/12)の対応については次回決定することにした。
- ・宮崎支部担当の全国支部懇談会(5/16・5/17)の参加申し込みの締め切りは1月末だが、現時点での申込者はいない。至急メールで改めて周知することにした。
- ・会計監査を4/4(土)または4/5(日)に実施する予定。

2月役員会

日時：令和2年2月20日(木)19時00分～20時40分

場所：神奈川工科大学横浜事務所

出席者：込田支部長、大槻副支部長、永井事務局長、森、青木、落合、田島、柴山
委任状による出席：長島、早川、廣岡、植木

議事

[報告事項]

(1) 山行報告

- ・永井より、1/25に山岳誌プロジェクトHコースとして実施した箱根港BS～孫助山～鞍掛山～箱根港BSについての報告があった。参加者は9名。

また、この山行に参加した関口会員が執筆した感想文の紹介があり、支部報に記載することにした。

- ・森より、2/8に山岳誌プロジェクトLコースとして実施した伊勢原駅＝日向薬師 BS～日向山～見城～広沢寺駐車場～山神隧道手前～鐘ヶ嶽～広沢寺温泉入口 BS＝本厚木駅についての報告があった。参加者は16名。

(2) 案内・報告

- ・永井より、埼玉支部主催の安全講習会受講報告(受講者:関口会員)についての紹介があった。

[審議事項]

(1) 年間スケジュール

- ・4月発行予定の支部報の構成について意見交換した。

(2) 山行計画

- ・山岳誌プロジェクトのHコースとして、2/22に新松田駅＝大滝橋 BS～権現山～畦ヶ丸～善六ノタワ～西丹沢ビジタセンターBS～新松田駅を実施予定。参加者は4名。留守本部は、込田と柴山が担当。
- ・山岳誌プロジェクトのLコースとして、3/14に半原 BS～あいかわ公園～南山～権現平～鳥井原園地～越路峠～松茸山～早戸川橋～宮ヶ瀬 BS を実施予定。現時点での参加申し込みは10名。留守本部は、柴山と青木が担当。
- ・山岳誌プロジェクトのHコースとして、3/28に上三増 BS～三増峠～雨乞山～根小屋登山口～城山～津久井観光センターBS を実施予定。なお、可能であれば志田峠も踏査する。また、当初計画していた小倉山は現在立ち入り禁止となっているため回避する。留守本部は次回決める。

(3) その他

- ・森より、2020年度の山岳誌プロジェクトLコースの計画が提案され承認された。ただし、昨年の中風の影響などにより一部変更になる可能性もある。
- ・永井より、2020年度の山岳誌プロジェクトHコースの計画が提案され承認された。ただし、2021年分につい

ては今後さらに検討する旨の説明があった。

- ・2/29・3/1に実施する気象講演会の運営について協議した。役員参加者は14時に現地集合。
- ・支部総会開催前の記念講演会講師は近藤和美氏に決定した
- ・令和元年度の予算執行状況について協議した。講演料・スノーシュー・ツェルトは金額が確定した。気象講演会が終わった段階で残額が明確になるので、永井・青木・森で協議し、図書購入と事務関係消耗品に充当することにした。
- ・永井より、本部に報告する令和元年度の事業報告の素案が示され、若干の修正を加えて報告することにした。会計報告は、次回審議する。
- ・静岡支部70周年行事には込田が出席。埼玉支部10周年行事には永井が出席。
- ・四国支部から案内のあった小島烏水祭(4/11・4/12)については、今年度は都合がつかず欠席することになった。
- ・宮崎支部担当の全国支部懇談会(5/16・5/17)の参加申し込みは1/31締め切りで、1名であった。
- ・支部総会に諮る次期役員候補者について協議した。その結果、込田支部長に継続をお願いし、その他については、込田が個別に相談して調整し、次回審議する方針を決定した。

今後の予定
役員会

4月16日(木) 19時～

5月21日(木) 19時～

6月18日(木) 19時～

於：神奈川工科大学横浜事務所

令和2年度支部総会

日時：5月23日(土) 13:30～16:15

場所：神奈川大学横浜キャンパス

※新型コロナウイルスの状況で総会の形態が変更になる場合があります。4月役員会後、案内いたします。

山行計画

かながわ山岳誌プロジェクト Lコース年度計画 (2020年度)

月日	予定のコース (△△)番号は踏査ポイント番号。 ○印は、踏査ポイントでないが、追加した方が良いと思われるポイント)	レベル	予定所要時間	交通手段	集合場所	集合時間
4/11	藤野駅～日連大橋～秋川橋～高倉山(205)～天神峠○ ～金剛山○～一本松山(20)～京塚山○～弁天橋～藤野駅	1.5	4:30	電車	藤野駅	9:40
5/9	JR 逗子駅＝湘南国際村～仏塚山(231)～葉山御用邸～ 大峰山(43)～仙元山(116)～[披露山(212)～逗子マリーナ] ＝JR 逗子駅	2	6:00	バス	逗子駅	8:50 予定
6/13	二宮駅＝生沢 BS～鷹取山(137)～霜降りの滝～万田の 滝～湘南平(101)～坂田山○～大磯駅	1.5	4:30	バス 電車	二宮駅南 口バス2番 乗り場	8:45
9/12	JR 早川駅～石橋山(16)～石垣山(12)～入生田駅	1.5	4:00	電車	早川駅	9:35
10/10	小田原駅＝国有林前 BS～台ヶ岳(127)～小塚山(80)～碓 氷峠(23)～明神平 BS＝箱根湯本	2	6:30	バス	小田原駅 南口	7:35
11/14	山北駅～浅間山(121)～丸山(243)～山北駅＝谷峨駅～ 城山(107)～谷峨駅	2	5:00	電車	山北駅	9:00
12/12	鎌倉駅＝杉本観音～衣張山(63)～？～披露山(212)～逗 子マリーナ＝逗子駅	1.5	4:00	バス	鎌倉駅	9:30: 予定
1/9	向ヶ丘遊園駅～升形山(237)～散策コース一周～日本民 家園～向ヶ丘遊園駅＝町田駅＝長津田駅＝すすかけ台 駅～飯綱神社入口～高尾山(134)～すすかけ台駅＝横浜 駅	1	4:00	電車	向ヶ丘遊園 駅	10:00
2/13	藤野駅＝赤松 BS＝篠原 BS～牧馬峠(233)～石砂山 (14)～城山(102)～菅井下～山なみ温泉 BS＝藤野駅	2	5:00	バス	藤野駅	8:00
3/13	相模湖駅＝石老山登山口～石老山(113)～高塚山(136) ～大明神～鼠坂～嵐山(11)～嵐山登山口＝相模湖駅	2	6:30	バス 電車	相模湖駅	8:30

(注)本計画は年度初めの案で、事情により変更することがあります。参加申し込みの際には必ず確認のこと。

本計画の山行に関する問い合わせ及び申し込みは、森(kng@jac.or.jp)にお願い致します。

支部会員以外の方の参加には、支部会員の紹介と同伴が条件となりますので、ご注意願います。

参加申し込みは、原則として、山行実施日の前月初めから実施日の1週間前です。

自然観察会

【日時】 4月18日(土)

【訪問先】 横浜市こども植物園

【集合場所】 横須賀線：保土ヶ谷駅改札9:30

【行程】 保土ヶ谷駅⇒(バス)⇒ 児童遊園地入口 BS→ 横浜市こども植物園 →横浜市児童遊園地(ランチ予定)→横浜市こども植物園→児童遊園地入口 BS⇒(バス)⇒ 保土ヶ谷駅

※歩行時間は、約3～4時間程度を想定 (隣の児童遊園地も対象)

解散は、15:00頃を予定。早退もOK。

【講師】 舟根会員、渡辺会員

【申込】 永井

締切は、4月16日(木)

オレゴンツアー (中止)

5月28日より予定しておりました神奈川支部主催のオレゴンツアーですが、コロナウイルスパンデミックの現状において実施は到底無理との予測判断により中止することといたしました。来年度には同様企画を再度検討いたしますので改めてご期待いただきたく存じます。(富岡)

支部会員動静

入会 16341 鎌田 典子
16115 高橋 潤一

物故 12227 西田 進

—◇—◇—◇—新入会員紹介—◇—◇—◇

【鎌田典子】



こんにちは。カマダノリコと申します。神奈川支部に入れていただき、ありがとうございます。

20代でテント縦走を始めました。

30代は山から離れておりました。

40代でクライミング、沢登りに夢中になりました。

現在は50代でハイキングとゲレンデスキーが楽しいです。

今は、ただただひたすら歩く、トレイル、をやりたいなあと思っています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

【田中浩二】

神奈川県山岳赤十字奉仕団の団員として丹沢で行われるトレイルランニング大会の救護活動などを行っていますが、その縁で2019年に入会させていただきました。

登山は大学時代に始めました。四季を通じて、日本のアルプスを中心に縦走、岩登り、沢登り、雪山などを登ってきました。海外赴任などで登山から離れた時期もありましたが、現在は、低山から3000m級まで四季を通じて登山を楽しんでいます。よろしくお願ひします。

あとがき

中国で発生した「武漢肺炎」は、世界中に多大なウイルス感染者をもたらしている。大勢の集会や様々の行事等が、延期あるいは中止されている。当支部も「気象講演会」を自粛した。また、我々の生活や日本経済に大きなダメージを与えている。いちにちも早い収束を期待すると同時に、普段の生活に戻られることを願う。(た)

発行：日本山岳会神奈川支部 支部長：込田伸夫

編集者：田島剛、永井泰樹、長島泰博 (本支部報に関する問い合わせ先：kng@jac.or.jp)

令和2年4月1日